


論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 784 号	氏名	濱口 杉大
学位審査委員	主 査	泉川 公一	
	副 査	平山 謙二	
	副 査	西田 教行	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は北ベトナムにおけるリケッチア症の臨床疫学像を明らかにし、臨床所見の診断的意義について、オッズ比を求めることで、リケッチア症の鑑別と診断の向上を目的としており、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 北ベトナム・ハノイの高次医療機関感染症病棟で臨床的にリケッチア症を疑われ入院となった成人患者 749 名を対象に、血清学的診断による確定診断を行い、診療記録は後向きに調査、データセットを完成し、統計学的解析法にて臨床上の相違点を解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、北ベトナムには、発疹熱とツツガムシ病が見られることが明らかとなった。発疹熱群はハノイ在住や海岸地域、ツツガムシ病群は国境付近やベトナム中部付近在住の患者の割合が多く、ツツガムシ病の臨床所見として、刺し口、呼吸困難、血圧低下、リンパ節腫脹が、他の群より有意に呈しやすいことが判明した。</p> <p>以上のように本論文は北ベトナムにおけるリケッチア症の疫学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと